

電機・情報ユニオン

2012年2月10日 第5号

発行 電機・情報ユニオン

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

Tel 03-3455-6006 Fax 03-3451-3595

Email : dp45011930@de.lolipop.jp

H P : http://denki-union.com/

働いて人間らしい生活が保障される社会をめざそう

2012年春闘方針

中央本部は1月29日、第2回中央執行委員会を開催し、12年春闘の基本方針を確認しました。春闘方針の概要を紹介します。

春闘をとりまく情勢

2012年春闘では、大企業に社会的責任を果たすという観点から賃上げなどで巨額な内部留保を還元させ、内需拡大・生活充実の経済へ転換する第一歩とするのが何より求められます。日本では賃金の低下が10年以上にわたって続いています。1990年代以降、非正規雇用が若い世代や女性を中心に広がり、労働者の38.7%、1

756万人にもなっています。厚生労働省「就業形態の多様化に関する総合実態調査」、総務省「労働力調査」から。その7割以上が有期雇用で、大半が数カ月の雇用契約を繰り返しながら何年も不安定で低賃金の労働を強いられています。

内部留保は、209兆円 その一部を労働者・国民に還元せよ

大企業はリーマン・ショック後の景気後退の中でも内部留保を増やし、266兆円となっています。内部留

保の増加の主な要因は、賃金の抑制と法人税と租税特別措置による減免措置です。富を独占した1%の人が社会を破壊した」としてウォール街を占拠せよ」と立ち上がった若者や労働者の闘いが世界を大きく動かししました。日本でも大企業と富裕層に富が集中しています。

このような巨額の内部留保の一部を労働者・国民に還元させれば、内需拡大・生活充実の経済へと転換することができそうです。

労働者は我慢しろと、経団連の春闘対策

日本の財界・大企業は、2012年春闘に向けて、低迷する日本経済の発展のためには「国際競争力」の強化が何よりも重要だと主張し、労働側の要求を企業の危機的な経営環境に対する認識が甘いとかわざるを得ない」として、春闘への対決姿勢を露わにしています。

労働者の要求にわたって春闘を



春闘方針を討議する 第2回中央委員会

第5号の紹介

- 1面 「働いて人間らしい…」春闘方針
- 2面 「働いて人間らしい…」春闘方針
- 3面 1月29日、第2回中央執行委員会を開催 米田委員長メッセージ⑤
- 4面 第一回旗開き 結成募金、目標達成！ 全労連共済に加入しましょう
- 5面 新春に、第2回「組合員のつどい」東京支部 富士通テン神戸工場、生産部門終息この たたかい 関西地本
- 6面 交流のひろば、告知板

2012春闘は、電機・情報ユニオンとして初めて取り組む春闘です。電機・情報ユニオンは、労働者の要求で団結し要求前進をめざすという労働組合の原点を大切にして春闘をたたかいます。そのため、2012年春闘に向けて、電機懇と電機・情報ユニオンは共同で、全国の電機・情報産業の職場に「2012年春闘生活改善要求アンケート」を約2万8000枚配布し、1000通を超える回答が寄せられました。

2面に続く